

TCVBオンラインカンファレンス2026



ローカルのように旅する時代に
～楽しさと心地よさの両立を目指して～

ローカルのように旅をするスタイルがトレンドとなりつつある今、東京においても、私たち住人のようにトレンドのファッション、ショッピング、アート、食事や街歩きを楽しむインバウンド客が多く見られるようになりました。

観光と日常生活のボーダーが交差する中で、観光地には新たなプロモーションの切り口と、住民生活と観光振興の両立を実現する地域マネジメントの両方が求められています。その課題を紐解くため、TCVBは今年度「アートツーリズム」と「オーバーツーリズム」をテーマに共同研究*を実施、パートナーとともに検証・考察しました。その研究成果をご報告します。

2026.3.11 [水]10:00-11:30

オンライン開催

参加費:無料

定員:500名

参加登録:

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_dM5ueL19RmmmC9WyGUb6NA

登録締切:

2026年3月9日(月)17:00



プログラム内容:

10:00 開会

10:05 東京のアートツーリズムの可能性
～東京のポテンシャルを最大化する戦略の考察～

“アートツーリズムは世界的に拡大し、作品鑑賞にとどまらず、多様な体験へと広がっています。東京のアートツーリズムの可能性は？概念整理や海外比較、識者の声を通じて“東京ならでは”的を探っていきます。”



東洋大学
国際観光学部教授
増子美穂氏



Kiwi PR合同会社
代表
植田聰子氏

10:45 観光と暮らしの好循環をつくる、オーバーツーリズムへの備え方
～渋谷・新宿・港区の事例から考える“適応力(アダプタビリティ)”～

高まる日本・東京人気の一方で、観光における生活への悪影響が生じつつあります。旅行者数や行動の完全なコントロールが難しい中、地域が高めるべき「適応力」とは何か。都内のケースから紐解きます。



じゃらん
リサーチセンター
研究員
長野瑞樹氏

11:30 閉会

*共同研究とは?
公益財団法人東京観光財団(TCVB)では、これからのが観光課題について、民間事業者等と共に調査・研究を行い、その成果や得られた知見を広く共有・発信する取組を行っています。詳しくは、企画調査に関する事業/TCVB 公益財団法人東京観光財団をご覧ください。